

## 大会注意事項

神奈川県陸上競技協会 HP に掲載している「感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について」の内容を遵守すること。

- 1 競技場への保護者や応援者、観客等の来場を原則禁止する。ただし、小学生については競技者1名につき1人のみ保護者の入場を例外として認める。また、各学校・団体の入場者は最小限の人数になるように調整・工夫すること。
- 2 次の書類を受付時に提出すること。提出しない場合は、競技会への参加を認めないものとする。中学校・高校の受付は顧問が行うこととする。
  - ・一般・小学生（コーチ・保護者）別紙1「大会前／提出用 JAAF 体調管理チェックシート」
  - ・中学生・高校生 別紙2「生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書」
  - ・中学・高校顧問 別紙3「参加状況報告書」
- 3 管理棟内及び雨天走路を待機場所にはできない。ロビー内では立ち止まらずに、速やかに外に出ること。更衣室の利用は更衣のみとし、シャワーの使用は禁止する。
- 4 声を出しての応援や集団での応援は禁止する。
- 5 感染症防止対策への取り組みを要請する。
  - ① レース中や試技の際にはマスク着用は義務付けないが、招集・移動・待機中はマスクを着用し、競技者同士の会話は極力控えること。  
ただし、熱中症対策として息苦しさを覚えた場合は、マスクを外して無理をしないこと。
  - ② 密になる状態を回避して、こまめな手洗いや手指の消毒をすること。
  - ③ ウォーミングアップは原則として個別に行うこと。
  - ④ 各学校や団体の待機場所で使用する消毒液は、各団体・各自で用意すること。
  - ⑤ 共用器具を使用する種目（投てき種目等）に参加する競技者が使用する滑り止め（炭酸マグネシウム等）及び消毒液は、できるだけ専用のものを各自で用意すること。
  - ⑥ 自分専用のごみ袋を用意してごみは持ち帰ること。
  - ⑦ その他、適切な判断と行動を心がけること。

1. 規則 2021年度日本陸上競技連盟競技規則を適用する。並びに本大会申合せ事項による。
2. 練習 8時20分まではトラック・フィールド内で練習する事ができる。それ以後は、隣接のサブトラックを使用する。ただし、投てき、跳躍の練習は、審判員の指示により行なう。競技に支障のない状況で審判員の指示により、競技場内の指定されたトラックを使用しでの練習も出来る。
3. 招集 招集所は、競技場東側の器具庫とする。選手は各競技開始50分前から30分前までに集合し、競技者係の指示に従う。その際に、シューズとアスリートビブスの確認を行い、合わせて腰ナンバー標識（4×100mRの1～3走、フィールド種目の出場者は不要）を交付する。腰ナンバー標識は回収しない。最終点呼は現地にて行う。招集・点呼に遅れた選手は欠場とみなす。
4. アスリートビブス 選手は、各種目とも、胸上部と背上部にアスリートビブスをつけること。ただし跳躍競技では胸か背のどちらか片方でも良い。一般の部（高校生を除く）及び、小学生の部のアスリートビブスは、当日、受付にて配布し、返却は不要とする。「3000m」「5000m」については特別ナンバーカードを使用する。  
特別ナンバーカードは、競技開始1時間前から招集所にて配布するので、受け取りに来ること。その際、正規のアスリートビブスを必ず持参すること。

5. リレー リレーオーダーは、所定の用紙に記入して、競技開始の2時間前から1時間前まで（小学生は受付時～8：00）に本部記録員に提出する。  
中学低学年の部のオーダーは、男女共2年、1年、1年、2年の順とする。

6. 応援 応援、付き添いの者は、競技場内に入らないこと、選手のフィールド内での応援はしてはならない。また、声を出しての応援や集団での応援は禁止する。

高校生・中学生について、学校ごとに控え所を設置する場合は、大会役員の指示に従い、決められた区域内に設けること。

7. 用具 用具は主催者が準備したものを使用するが、当日検査に合格したものは私物使用を認める。検査時間は、原則として、競技開始予定時刻の1時間15分前から1時間前までとする。

|       |              |              |              |
|-------|--------------|--------------|--------------|
| 砲丸の重さ | 一般男子=7.260kg | 高校男子=6.000kg | 中学男子=5.000kg |
|       | 一般女子=4.000kg | 中学女子=2.721kg |              |
| 円盤の重さ | 一般男子=2.000kg | 高校男子=1.750kg | 一般女子=1.000kg |
| やりの重さ | 一般男子=800g    | 一般女子=600g    |              |

8. その他
- ① 走高跳のバーの上げ方は、

|      |                                    |       |
|------|------------------------------------|-------|
| 中学女子 | 1m10 1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 | 以降3cm |
| 中学男子 | 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 | 以降3cm |
| 一般女子 | 1m25 1m30 1m35 1m40                | 以降3cm |
| 一般男子 | 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 | 以降3cm |

（同記録による1位決定の為にバーの上げ下げは2cmとする。）
  - ② 小学生の走幅跳は2回試技とする。
  - ③ 本競技場は全天候型につきスパイクのピンは9mm以下を使用すること。  
（走高跳・やり投は12mm以下とする）スパイクのピンの直径は先端が4mm以内、本数は11本以内とする。走路の安全と競技者の安全のため「競技規則第143条」を厳守すること。競技者用シューズの靴底は「WA規則第143条（TR：5シューズ）」を守ること。なお、中学生・小学生のフィールド競技での適用は除外する。
  - ④ 他の種目と兼ねて出場する者は、必ずその旨を競技役員に申し出ること。特に時間的に重なる種目は注意して競技役員の指示に従うこと。
  - ⑤ 選手の控え所は、スタンドのため、特に所持品等は各校又個人で管理すること。
  - ⑥ プログラムの誤記追記は、プログラムを受け取り次第、直ちに確認し、8時00分までに本部記録員に届け修正すること。申し出がない場合は、賞状の書替はしない。
  - ⑦ ごみは、各団体、各自で責任を持って処理すること。
  - ⑧ 更衣室での飲食は厳禁とする。各自責任を持ってきれいに使用すること。